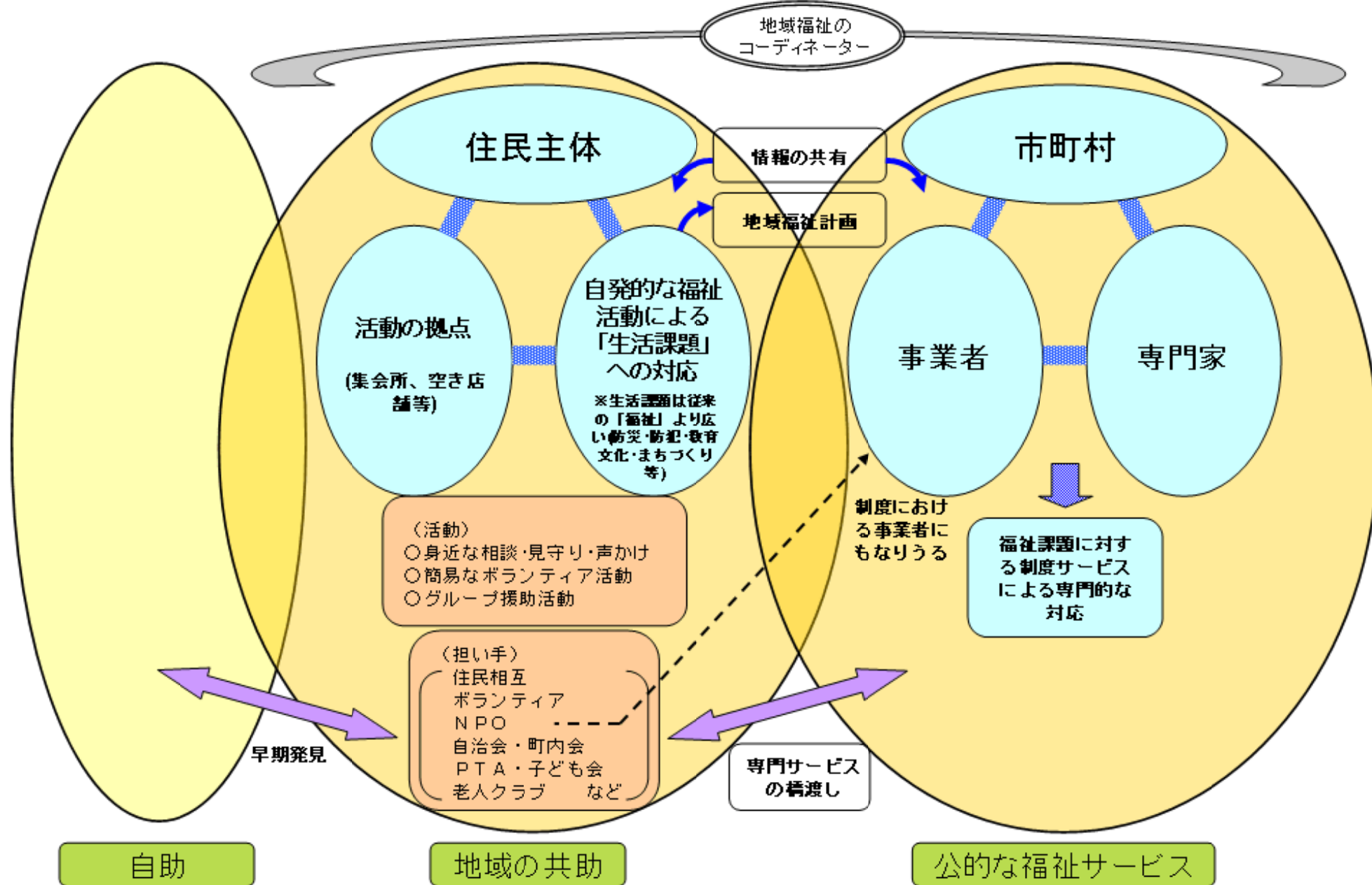


# 地域における「新たな支え合い」の概念

住民と行政の協働による新しい福祉



# ケアタウン構想策定へのシナリオ（骨子）

## 1 背景

- ・ 近年の制度改革により、公的福祉サービスは、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉等、分野ごとに整備
- ・ 施策の方向性として、在宅福祉の充実、自立支援の強化、サービス供給体制の多様化を推進
- ・ 一方、制度の谷間にある方や複合的問題を抱えている方等、横断的に対処すべき事例が増加
- ・ 少子高齢化や核家族化の進展により、地域の中の連帯感の希薄化や親族間での支え合いの限界等従来のセーフティーネットが脆弱化
- ・ このような状況を踏まえ、地域、行政、事業者が一体となって地域福祉の推進を図るよう国は提唱→地域における「新たな支え合い」を求めて～住民と行政の協働による新しい福祉～（これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書）

## 2 ケアタウン構想の目指す方向性

- ・ 高齢者、障害者、児童、子育て中の保護者等、社会的に何らかの支援を必要とする方々を、従来の制度的な枠組みを超えて、地域・行政・事業者が連携して一体となって支える仕組みを検討

## 3 ケアタウン構想の視点

### (1) 制度の枠を超えた福祉サービスのあり方

- ・ 包括的な相談サービスのあり方（地域包括支援センター、子育て支援センター、障害者相談支援事業）
- ・ サービスの複合化・共有化→(例)介護事業所が障害児の放課後支援サービスを実施等
- ・ 行政の体制のあり方→組織・職員のあり方

### (2) 地域における相談・交流の場のあり方

- ・ 気軽に情報交換や相談できる場の確保
- ・ 高齢者、障害者、子ども達が触れ合える場の提供

### (3) 多様化する福祉ニーズの調整役のあり方

- ・ 地域福祉のコーディネーター
- ・ 地区担当職員（ケースワーカー・保健師等）

### (4) その他

## 4 ケアタウン構想の担い手

- ・ 民生委員児童委員協議会
- ・ 地区社協
- ・ 自治会
- ・ 民間事業者（介護事業者、障害者地域作業所、保育所など）
- ・ 行政
- ・ 福祉ボランティア、その他関係福祉団体等

## 5 構想の基本的スタンス

- ・ 既存の組織、担い手、拠点等を最大限に活用
- ・ 既存の組織、担い手、拠点等の連携策の検討
- ・ 既存の組織、担い手、拠点等の付加価値化の検討

## 6 構想策定の前捌き

### (1) 地域における福祉ニーズの把握

- ・ 行政の情報
- ・ 民間事業者（介護事業者、障害者地域作業所、地域包括支援センターなど）の情報
- ・ 地縁団体（民児協、地区社協、自治会など）の情報
- ・ ボランティアの情報
- ・ その他

### (2) 福祉資源の洗い出し

- ・ 人、モノ
- ・ 拠点、場、空間

### (3) 課題の抽出・整理

## 7 構想の組み立て方

### (1) 時間的スパンで施策を整理

- ・ 短期で実現可能なもの
- ・ 中期で実現可能なもの
- ・ 長期で実現可能なもの

### (2) 担い手ごとに施策を整理

- ・ 民間事業者主体
- ・ 行政主体
- ・ 地域（地縁団体・ボランティア）主体
- ・ 三者連携

### (3) 施策を展開するための条件

- ・ 施策展開に必要な条件（ヒト・モノ・カネ）を整理

## 他市町村における先進的な取り組み

### 行政主体による取り組み

#### 1. ひがしまつやま市総合福祉エリア（東松山市）

誰もが利用できる支援の拠点として市が設置した総合福祉施設。福祉に関する総合相談センターを開設し、高齢者介護に関する相談（地域包括支援センター）や障害者福祉に関する相談を一手に受け付けている。

#### 2. 地区社会福祉協議会の活動拠点の整備・拡充（船橋市）

船橋市では、市内23地区の各地区に存在する公民館や公共機関の一角を地区社会福祉協議会の事務拠点として整備。協議会としてさまざまな活動をしているほか、福祉団体やボランティア団体の活動の場として提供している。また、地区社会福祉協議会の職員が常駐し、地域内での共助・連携の核となっている。

### 事業者主体による取り組み

#### 1. ケアタウン小平いっぷく荘（小平市）

ワンルーム賃貸型住宅に、デイサービスセンターやクリニック、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション等が併設した複合型コミュニティケア施設。ホスピス（ターミナルケア施設）での経験をヒントに生まれた。

#### 2. ゴジカラ村（長久手町）

町内の山林の土地所有者が、森林をなるべくそのままの状態ですり開き、特別養護老人ホーム、幼稚園、介護福祉専門学校、託児所、デイサービス、ショートステイ、訪問看護ステーション、ケアハウス等を建設し、広大な地区内に複数の福祉施設が併設されている分散型総合施設。児童から高齢者に至るまで、さまざまな年代の人が集まる村となっている。

### 地域（住民）主体による取り組み

#### 1. すずの会（川崎市宮前区）

高齢者や障害者、その家族を互いに支え合い、触れ合いながら誰にでも優しい街づくりネットワークを目指し、地域の特性に合った交流の実践を目的として活動している介護福祉ボランティアグループ。

地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者、子育て中の母親が気軽にお付き合いできる場を提供し、積極的に参加できるような交流会を開催している。また、介護予防や福祉施設に関するサービス内容や、各種福祉情報等のサービス利用者向けの冊子を作成・販売している。

#### 2. 暮らしの支援 NETWORK（京都市）

高齢者・障害者・健常者それぞれが互いの特性を發揮しながら成長し合う、暮らしの主人公としての役割の自覚を目的として活動している福祉ボランティアグループ。

介護研究会や自立支援に関する研修や交流会を毎月1回開催し、すべての人が自分らしく生きるための手助けを行っている。